

# 環境安全活動計画・実績

## ● 環境安全活動計画・実績

環境安全委員会の活動は、環境や安全に関するマネジメントシステムの整備や活用、有害化学物質の大気排出削減、廃棄物削減対策、省エネルギー対策等、各部会が年度計画を策定し、会員会社が環境安全活動を効率的に進められるように、ツールや資料の整備に取り組んでいます。業界横断的な取り組みが求められる事項については企画会議が窓口となり、部会と連携を取りながら関係者との意見交換や情報を提供しています。2006年度は企画会議と省資源廃棄物対策部会が協働で、医療系一般廃棄物の適正処理システム構築の検討を日本製薬団体連合会（日薬連）と連携して、環境省や厚生労働省および日本薬剤師会と話し合いました。また温暖化対策に関する対策技術や政策動向に関する情報収集や業界の活動実態


について、省エネ温暖化防止部会が中心となって環境省や経済産業省、製薬協GMP委員会メンバー等と一緒にCO<sub>2</sub>排出量削減のための解決策を考えています。それぞれの立場で専門性を活かしながら、課題を理解し協働で解決策を作り上げていくことが、複雑な環境問題への対応には必須だと考えています。

製薬産業におけるCSRを推進するという基本認識のなかで、個別の企業では解決しにくい環境問題についても活動のテーマとして設定し取り組み、行政や医療関係者等の外部の関係者とのコミュニケーションも積極的に図ってきました。また、「活動や成果が見えること」を意識した環境報告書や成果報告集の編集にも努めています。

## ● 研究会活動

専門部会には、専門委員以外の会員会社や関係会社からのメンバーも参加できる研究会を設置し、研究テーマに関心のある方々とのオープンな活動の場を提供しています。

### 2007年の研究活動

<p>化学プロセスの安全性評価研究会</p>	<p>原薬の製造開発、工業化研究、スケールアップ等を担当する実務者を対象にメンバーを募集し、専門家による講演をシリーズで実施しています。原薬の化学合成プロセスについての安全性の評価手法を習得しリスク低減、安全操業に繋げることを目指しているグループの活動です。</p> <p>講演 ①「産業現場における爆発・火災災害の状況」  <b>(独) 労働安全衛生総合研究所 産業安全研究所 安藤 隆之氏</b></p> <p>講演 ②「反応プロセスのリスク評価手法」  <b>横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授 三宅 淳巳氏</b></p>
<p>京都議定書総合対応策研究会</p>  <p>明治製薬(株) 岐阜工場の天然ガスへのエネルギー転換施設を見学</p>	<p>研究会では製薬企業での省エネルギー・地球温暖化防止への対策事例について、会員企業の事例発表や、協力会社による設備・機器の紹介、また工場での対策設備の見学会を開き、製薬企業の具体的な対策について調査、検討してきました。</p> <p>具体的な活動として ①製薬会社による研究所での省エネ対策事例の発表会 ②協力会社による動物棟での省エネ対策の講演会 ③会員企業のCO<sub>2</sub>排出対策施設の見学会を2ヵ所(天然ガスへのエネルギー転換施設とバイオガス発電施設、燃料電池)で実施しました。</p> <p>今後も製薬企業が取り得る具体的な地球温暖化防止の対策に役に立つ情報の収集と提供を行ってまいります。</p>

## ● 2006年度事業計画の達成状況・2007年度計画

項目	2006年度事業計画	2006年度事業の主な実績	2007年度計画
環境安全マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境マネジメントシステムのフォローアップ</li> <li>● 労働安全衛生マネジメントシステムの導入支援</li> <li>● 環境関連報告書の作成支援</li> <li>● 環境会計の活用検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CSR経営に関する講演会を開催<sup>*1</sup></li> <li>● 環境と労働安全衛生に係るマネジメントシステム導入状況調査を実施<sup>*2</sup></li> <li>● 環境報告関連の調査と解析<sup>*3</sup></li> <li>● 労働災害、定期健康診断、営業車輛の事故、等に関する調査報告をとりまとめた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術研修会の開催</li> <li>● 環境報告書作成支援</li> <li>● 労働安全衛生に関する情報発信</li> </ul>
化学物質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PRTR調査</li> <li>● 化学物質自主管理活動の継続</li> <li>● 河川・下水・飲料水に含まれる残留医薬品に関する情報収集</li> <li>● リスクコミュニケーション・リスクアセスメントの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有害大気汚染物質第3期自主管理のフォローアップを実施</li> <li>● PRTR調査結果をとりまとめた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 化学物質自主管理活動およびPRTR調査</li> <li>● 化学物質の使用・排出実態の把握と自主的な排出抑制対策の推進</li> <li>● 揮発性化学物質の排出抑制対策技術等に関する情報発信</li> <li>● 化学物質の安全性や環境中挙動、環境影響評価等に関する情報収集発信</li> </ul>
省エネルギー・温暖化防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経団連環境自主行動計画のフォローアップ</li> <li>● 京都議定書への対応策検討および調査</li> <li>● 技術研修会「GHG排出削減」開催</li> <li>● 温暖化防止政策等調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製薬企業の省エネルギー温暖化対策調査を実施</li> <li>● 省エネ技術研修会を開催</li> <li>● 環境自主行動計画目標達成に向けた提言を策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製薬企業の省エネルギー温暖化対策フォローアップ調査を実施</li> <li>● 省エネ温暖化防止技術研修会の開催</li> <li>● 省エネ温暖化防止事例集の発行</li> </ul>
省資源・廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境自主行動計画と廃棄物処理実態調査</li> <li>● 廃棄物削減・ゼロエミッション検討</li> <li>● 容器包装改善支援</li> <li>● 医薬品に係る廃棄物問題への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療廃棄物、先進的廃棄物処理、等をテーマにセミナーを開催</li> <li>● 自主行動計画のフォローアップを実施</li> <li>● 「医薬品容器包装等の廃棄に関する手引き」を改訂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境自主行動計画のフォローアップ調査を実施</li> <li>● 廃棄物削減、医薬品容器包装改善に関する情報共有化</li> <li>● 廃棄物委託業者評価システムの検討</li> <li>● 容器包装3R推進に係る自主行動計画に、日薬連と協力</li> </ul>
ステークホルダー・エンゲージメント コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部団体との協力体制の強化</li> <li>● タイムリーかつ適切な情報発信とコミュニケーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医薬品評価委員会と環境中の医薬品残留に関する情報交換</li> <li>● 日薬連と環境委員会設置で協力</li> <li>● 医療系廃棄物問題について厚生労働省、日本薬剤師会等との意見交換</li> <li>● 環境報告書に外部関係者からの寄稿を依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製薬協の他の委員会との情報交換と連携を強化</li> <li>● 外部関係者との相互理解と連携を強化</li> </ul>

※1～3については、2006年度報告書で報告